



2023年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 日本乾溜工業株式会社
コード番号 1771 URL <https://www.kanryu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼田 智仁
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 大谷 友昭
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
TEL 092-632-1050

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	13,502	1.6	971	0.1	1,021	0.5	725	8.1
2022年9月期第3四半期	13,283	4.1	970	13.9	1,026	12.9	671	15.7

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 754百万円 (1.0%) 2022年9月期第3四半期 747百万円 (8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	145.71	59.35
2022年9月期第3四半期	133.22	54.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	13,905	8,590	61.8
2022年9月期	13,104	7,968	60.8

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 8,590百万円 2022年9月期 7,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		14.00	14.00
2023年9月期		0.00			
2023年9月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,330	3.0	950	2.5	980	1.0	600	85.4	117.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定であるため、2022年9月期の優先株式の配当年率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	5,102,000 株	2022年9月期	5,102,000 株
期末自己株式数	2023年9月期3Q	144,795 株	2022年9月期	61,795 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	4,980,311 株	2022年9月期3Q	5,040,205 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

普通株式と権利の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

第1回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期(予想)				未定	未定

(注) 2023年9月期の予想につきましては、配当年率が2023年10月1日の日本円TIBOR(6ヶ月物)に1.5%を加えた率によるため、現時点では未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下、各種政策の効果もあって景気の持ち直しの動きがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化や物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の景気の下振れリスクを抱えており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが主力事業とする建設業界におきましては、建設資材価格の高騰や建設労働者不足による労務費の高止まり等が続いており、受注環境は依然として厳しい状況で推移しているものの、公共投資は底堅く推移いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、135億2百万円（前年同四半期比1.6%増、2億18百万円増）、営業利益は9億71百万円（同0.1%増、1百万円増）、経常利益は10億21百万円（同0.5%減、5百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億25百万円（同8.1%増、54百万円増）となりました。

なお、当社グループの業績につきましては、主力事業である建設事業の通常の営業形態として、売上高が第2四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業における工事につきましては、高規格道路におけるガードレール及びワイヤーロープ式防護柵、道路標識等の交通安全施設関連大型工事が順次完成したことにより、完成工事高は前年同四半期を上回りました。

また、建設工事関連資材の販売につきましては、防災・減災のための土木資材及び工事用道路建設のための盛土資材の販売が好調に推移したことにより、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、建設事業の売上高は118億60百万円（前年同四半期比4.7%増、5億36百万円増）、セグメント利益は13億10百万円（同8.3%増、99百万円増）となりました。

(防災安全事業)

防災安全事業の業績につきましては、労働安全衛生法の改正に伴う安全衛生保護具の販売が一巡したこと、また、防災資機材及び感染症対策用品は官公庁からの発注量が減少したことにより、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は15億67百万円（前年同四半期比4.6%減、76百万円減）、セグメント利益は1億7百万円（同18.7%減、24百万円減）となりました。

(化学品事業)

化学品事業につきましては、タイヤの製造過程で使用されるゴム加硫剤（不溶性硫黄）の販売は、不溶性硫黄事業について2022年12月1日付にて会社分割による事業譲渡を実施したことにより、前年同四半期を下回りました。なお、当社オリジナル製品である環境型自然土防草舗装材（製品名：雑草アタック）の販売は、上記事業譲渡に伴い、第2四半期連結会計期間より建設事業に移管いたしました。

以上の結果、化学品事業の売上高は74百万円（前年同四半期比76.4%減、2億41百万円減）、セグメント利益は9百万円（同62.3%減、15百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、139億5百万円（前連結会計年度末比6.1%増、8億1百万円増）となりました。

資産につきましては、流動資産が105億35百万円（同15.9%増、14億46百万円増）となりました。その主な要因は、当社グループの通常の売上形態として売上高が第2四半期連結会計期間に集中し、第3四半期連結会計期間ではその売上債権の回収が進むために、現金及び預金が8億4百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、33億70百万円（同16.1%減、6億45百万円減）となりました。その主な要因は、化学品事業における不溶性硫黄事業の事業譲渡に伴って固定資産が移転したこと等により有形固定資産が4億13百万円

減少したことに加え、のれんの償却等により無形固定資産が1億8百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、53億15百万円（同3.5%増、1億79百万円増）となりました。その主な要因は、第2四半期連結会計期間に売上が集中することから第3四半期連結会計期間では手形による仕入債務の支払いが多くなるために、支払手形・工事未払金等が3億91百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、85億90百万円（同7.8%増、6億21百万円増）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を7億25百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において概ね予定の範囲内で推移しており、2022年11月18日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,755,743	5,560,104
受取手形・完成工事未収入金等	3,717,217	4,478,790
電子記録債権	92,325	86,035
未成工事支出金	212,101	124,970
商品及び製品	126,042	111,293
仕掛品	13,510	1,530
原材料及び貯蔵品	12,363	1,297
その他	161,557	172,992
貸倒引当金	△1,949	△1,757
流動資産合計	9,088,914	10,535,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	827,596	591,593
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	110,104	91,198
土地	1,173,022	1,016,840
その他（純額）	5,965	3,862
有形固定資産合計	2,116,688	1,703,494
無形固定資産		
のれん	731,861	653,447
顧客関連資産	278,190	248,383
その他	13,171	12,505
無形固定資産合計	1,023,222	914,335
投資その他の資産		
投資有価証券	693,644	681,703
差入保証金	14,751	12,818
その他	174,525	65,267
貸倒引当金	△7,235	△7,049
投資その他の資産合計	875,685	752,739
固定資産合計	4,015,596	3,370,570
資産合計	13,104,511	13,905,828

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,332,098	3,723,650
短期借入金	115,200	115,200
未払法人税等	64,552	160,721
未成工事受入金	80,953	170,698
賞与引当金	244,319	243,038
役員賞与引当金	29,749	-
株主優待引当金	4,600	-
事業譲渡損失引当金	280,589	-
その他	320,026	353,485
流動負債合計	4,472,087	4,766,793
固定負債		
長期借入金	444,800	358,400
退職給付に係る負債	124,244	111,744
その他	94,432	78,376
固定負債合計	663,477	548,521
負債合計	5,135,564	5,315,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,675	413,675
資本剰余金	698,570	698,570
利益剰余金	6,570,457	7,209,565
自己株式	△10,032	△56,761
株主資本合計	7,672,670	8,265,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	321,209	343,497
退職給付に係る調整累計額	△24,934	△18,033
その他の包括利益累計額合計	296,275	325,464
純資産合計	7,968,946	8,590,513
負債純資産合計	13,104,511	13,905,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	13,283,945	13,502,579
売上原価	10,425,939	10,540,843
売上総利益	2,858,006	2,961,735
販売費及び一般管理費	1,887,965	1,990,689
営業利益	970,041	971,046
営業外収益		
受取利息及び配当金	25,015	28,065
受取賃貸料	15,885	10,357
受取手数料	10,602	7,697
その他	11,829	10,231
営業外収益合計	63,332	56,352
営業外費用		
支払利息	4,740	3,878
支払手数料	2,046	628
その他	132	1,824
営業外費用合計	6,919	6,332
経常利益	1,026,453	1,021,066
特別利益		
固定資産売却益	-	3,500
投資有価証券売却益	-	148,138
特別利益合計	-	151,638
特別損失		
事業譲渡損	-	4,944
特別損失合計	-	4,944
税金等調整前四半期純利益	1,026,453	1,167,760
法人税、住民税及び事業税	343,721	363,763
法人税等調整額	11,255	78,326
法人税等合計	354,976	442,089
四半期純利益	671,477	725,670
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	671,477	725,670

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	671,477	725,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,803	22,288
退職給付に係る調整額	4,848	6,900
その他の包括利益合計	75,651	29,188
四半期包括利益	747,128	754,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	747,128	754,858
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,324,629	1,643,449	315,866	13,283,945	—	13,283,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,324,629	1,643,449	315,866	13,283,945	—	13,283,945
セグメント利益	1,210,340	131,682	24,363	1,366,386	△396,345	970,041

(注) 1. セグメント利益の調整額△396,345千円は、報告セグメントに配分していない全社費用396,345千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,860,975	1,567,042	74,561	13,502,579	—	13,502,579
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,860,975	1,567,042	74,561	13,502,579	—	13,502,579
セグメント利益	1,310,301	107,035	9,190	1,426,526	△455,480	971,046

(注) 1. セグメント利益の調整額△455,480千円は、報告セグメントに配分していない全社費用455,480千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。